

2026年7月3日
株式会社ACSL

ACSL、7月15日～17日開催の第12回 国際ドローン展に出展 SBIRで開発中の次世代小型空撮機体の開発試作機を展示

- 2026年7月15日（水）～17日（金）に東京ビッグサイトにて開催されるメンテナンス・レジリエンス2026内の「第12回 国際ドローン展」に出展
- SOTEN や PF4 の各種活用事例紹介及び経済産業省の「中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR）」で開発中の次世代小型空撮機体の開発試作機を展示

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、ACSL）は、2026年7月15日（水）～17日（金）に東京ビッグサイトにて開催されるメンテナンス・レジリエンス2026内の「第12回 国際ドローン展」に出展しますので、お知らせいたします。

国内及び米国で活用が進んでいる国産ドローン SOTEN（蒼天）の展示はもちろんのこと、マルチユースドローン「PF4」の各種ユースケース事例を交えた展示、さらに経済産業省の「中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR）」に採択され開発を進めている次世代小型空撮機体のご紹介を実施いたします。来場者のみなさまに最新の国産ドローンを見て、触っていただける展示となっています。



次世代小型空撮機体（開発試作機）

■みどころ①：SBIR で開発中の次世代小型空撮機体の開発試作機を展示

当社は「中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR）」に係る事業者に採択され、「行政等ニーズに応える小型空撮ドローンの性能向上と社会実装」事業において次世代小型ドローンの開発を進めております。本展示会では、その開発試作機体を展示し、機体性能や機能のご紹介と合わせて搭載カメラによる映像をデモ展示いたします。

本機体は、耐風性能、飛行時間、対候性、携行性、障害物回避機能、カメラ性能といった小型空撮機に求められる基本性能の向上に加え、当社がこれまで培ってきたナレッジを基盤とした自律制御技術およびセキュリティ機能の強化を図っています。また、AI 技術との融合により、「誰でも、どこでも、高いレベルで簡単に使用できる」機体コンセプトの実現を目指しています。

映像デモでは、点検用途等を想定し、ブース内に設置した壁面クラック、ネジの錆び等の対象物を撮影し、その映像を地上局モニターにてご覧いただきます。

■みどころ②：マルチユースドローン PF4 の各種ユースケースに対応したペイロードキットを展示

長距離飛行性能・安全機能を備える PF4 は、物流用途をはじめ、広域空撮や測量等多様な用途に対応可能な機体です。各種ペイロードはユーザー自身で交換可能な設計となっており、用途に応じて柔軟に運用いただけます。本展示会では、その各種ペイロードキットを機体と併せて展示し、マルチなユースケースにおける運用をご体感いただけます。



PF4（物流仕様）



PF4（測量仕様）

■出展詳細

- ・開催日：2026年7月15日（水）～17日（金）10:00～17:00
メンテナンス・レジリエンス 2026 内第12回 国際ドローン展
- ・会場：東京ビッグサイト 東展示棟
- ・ブース：3-N12（国際ドローン展ゾーン）
- ・入場：無料 ※来場者登録が必要です。以下よりご登録をお願いいたします。
- ・展示会 HP：<https://mente.jma.or.jp/structure/drone.html>

【株式会社A C S Lについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S Lは、「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」をミッションに、国産の産業用ドローンを開発・量産するメーカーです。独自の自律制御技術と高い信頼性を備えた機体を提供し、空撮・点検・物流・防災など多様な領域で社会インフラの維持管理や安全・安心に貢献しています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社A C S L 広報担当 (Tel : 03-6456-0931 Email : pr@acsl.co.jp)

以 上